

鹿児島空港将来ビジョン工程表について(案)

資料2

鹿児島県 

- 鹿児島空港将来ビジョン推進協議会を設置し、「鹿児島空港将来ビジョン」の実現に向けて、必要となる施策等について協議等を行った上で、「鹿児島空港将来ビジョン工程表」を策定予定

鹿児島空港将来ビジョン(R元11月)

【数値目標】

	2017年	2030年	2050年 (参考)
国内線	533万人	589万人	600万人
国際線	29万人	141万人	230万人
合計	562万人	730万人	830万人

【施策展開の方向性】

- 訪日外国人観光客等の需要獲得に向けた戦略の推進
- 新たな航空需要に対応した運用改善や施設整備
- 鹿児島空港の魅力を増す機能の強化・充実
- 地域における多面的な「拠点性」向上

※ 数値目標については、IATAの需要予測や国のインバウンド目標の考え方を踏まえ、修正しない予定

鹿児島空港将来ビジョン工程表

【検討テーマ(案)】

① 新規路線等の誘致について
ターゲット国・地域からの新規
路線等誘致に向けた戦略を検討

③ 二次交通の充実について
利用者の増加見込みへの対
応や利便性向上を図るため、「二
次交通のあり方」を検討

⑤ 地域の拠点機能向上について
地域の多様な拠点機能の向
上を図るとともに、県民等の理解
促進を図るための方策を検討

② 再整備のあり方について
鹿児島空港の施設に係る再整
備のあり方について検討

④ 物流・輸出入機能の向上について
航空貨物の利用促進や受入体
制の強化を図るための方策を検討

※ 令和3年度中の取りまとめを
想定